

山田泉 経歴・主要研究業績一覧

著者	山田 泉
出版者	法政大学キャリアデザイン学部
雑誌名	法政大学キャリアデザイン学部紀要
巻	14
ページ	111-118
発行年	2017-03
URL	http://hdl.handle.net/10114/12984

山田泉教授
経歴および業績

山田泉 経歴・主要研究業績一覧

1950年8月4日生

<経歴>

- 1975（昭和50）年3月25日 中央大学文学部（二部）文学科国文学専攻卒業
- 1975（昭和50）年4月1日 明德学園相洋高校国語科教諭（～1979（昭和54）年3月）
- 1979（昭和54）年10月1日 専修学校日中学院一般科受講
- 1981（昭和56）年3月31日 同上修了
- 1981（昭和56）年4月14日 国立国語研究所日本語教育長期専門研修受講
- 1982（昭和57）年2月26日 同上修了
- 1982（昭和57）年3月23日 中華人民共和国大連外国語学院日本語学部外国人文教専門家
- 1984（昭和59）年3月12日 財団法人中国残留孤児援護基金中国帰国孤児定着促進センター指導課長
- 1985（昭和60）年5月1日 文化庁文化部国語課日本語教育専門職員
- 1988（昭和63）年4月1日 昭和女子大学文学部日本文学科助教授
- 1993（平成5）年8月1日 大阪大学言語文化部助教授
- 1994（平成6）年6月24日 大阪大学留学生センター教授
同大学大学院人間科学研究科教育環境論講座兼任
- 2003（平成15）年4月1日 法政大学キャリアデザイン学部教授（今年度末退職予定）

<主要業績>

（以下、論文・著書等）

山田泉2015.09.30「日本語教育と漢字」『国際日本学』第13号法政大学国際日本学研究所（pp.101-109）

山田泉（分担執筆）2015.05.20「21世紀の地球市民教育としての日本語教育を

創る」神吉宇一編『日本語教育学のデザイン—その地と図を描く—』凡人社 pp.176-177

山田泉(分担執筆)2014.01.15「3.コミュニティ研究」(第1部キャリアデザイン学へのアプローチ第3章生活とキャリア—ライフキャリア領域)金山喜昭・児美川孝一郎・武石恵美子編『キャリアデザイン学への招待』ナカニシヤ出版 pp.81-93

「外国につながる子どもたちの物語」編集委員会(山田を含む6人共著、まんが:みなみななみ)2013.06.01『まんがクラスメイトは外国人入門編—はじめて学ぶ多文化共生—』明石書店

山田泉2013.04.13『多文化教育I』法政大学出版局

山田泉2012.11.30書評「日本語教育関係者の意識改革—近代国民国家の主権者となるために—牲川波都季著『戦後日本語教育学とナショナリズム—「思考様式言説」に見る包摂と差異化の論理—』『社会言語学XII』pp.189-199

山田泉2012.03.30「研究報告⑥中国における多文化共生教育としての年少者日本語教育の試み」『多文化共生としての日本研究—社会発展の歩みと共に—』法政大学国際日本学研究所編国際日本学研究叢書15(pp.161-175)

山田泉(共編)2012.03.01(予定)『生きる力をつちかう言葉—言語的マイノリティーが「声を持つ」ために—』大修館書店256ページ

新矢麻紀子、山田泉、春原憲一郎2011.10「韓国における移民関連施策および支援状況に関する実態調査報告(4)」『大阪産業大学論集人文・社会科学編』13号 大阪産業大学学会 pp.115-40

新矢麻紀子、山田泉、窪誠、大谷晋也、三登由里子2011.02「韓国における移民関連施策および支援状況に関する実態調査報告(3)」『大阪産業大学論集人文・社会科学編』11号 大阪産業大学学会 pp.187-212

山田泉2010.11.11「日本語学習権保障と法制化」田尻英三・大津由紀雄編『言語政策を問う!』ひつじ書房 pp.149-164

山田泉2010.10.08「外国人と共に生きる社会 なぜ「日本語教育振興法」が必要か」日本語教育政策マスタープラン研究会(山田を含む9人)『日本語教育でつくる社会 私たちの見取り図』ココ出版 pp.1-18

- 平高文也、山田泉（共著）2010.10.08「言葉にかかわる権利を考える言語学習権（日本語・母語）」119-1『日本語教育でつくる社会 私たちの見取り図』ココ出版 pp.81-95
- 山田泉、野山広（共著）2010.10.08「年少者（児童・生徒）に対する日本語教育」日本語教育政策マスタープラン研究会（山田を含む9人）『日本語教育でつくる社会 私たちの見取り図』ココ出版 pp.119-38
- 新矢麻紀子、山田泉、大谷晋也、三登由利子2010.06.30「韓国における移民関連施策および支援状況に関する実態調査報告（1）」『大阪産業大学論集人文・社会科学編』9号 大阪産業大学学会 pp.177-97
- 山田泉2009.10.10「学生の「キャリア意識」形成について感じたこと～現代GP「実践的総合キャリア教育の推進」プログラムを担当して～」『大学と学生』10月号 独・日本学生支援機構 pp.20-26
- 「外国につながる子どもたちの物語」編集委員会（山田を含む6人共著、まんが：みなみななみ）2009.04.10『まんがクラスメイトは外国人－多文化共生20の物語－』明石書店
- 山田泉2008.10.25「第7回日本語教育国際研究大会（A）多文化と日本語教育」『日本語教育』139号所収（社）日本語教育学会 pp.1-11
- 山田泉2008.02「在住外国人の社会参加を目指して－川崎市の「識字学級」を考える－」『生涯学習とキャリアデザイン』法政大学キャリアデザイン学部紀要Vol.5所収 pp.41-48
- 山田泉2008.02.01「外国人への「言語保障」－対等・平等な社会参加のために」大修館『言語』2月号（特集：言語権とは何か－多言語時代を生きるために） pp.76-83
- 山田泉2007.10.01「多文化多言語主義と子どもの発達」（単）田尻英三、田中宏、吉野正三、山西優二、山田泉著『外国人定住と日本語教育（増補版）』所収 ひつじ書房 pp.129-167
- パク・ヘスク、山田泉2007.02「外国人市民の生涯発達と社会変容－川崎市における聞き取り調査事例をもとに－」『生涯学習とキャリアデザイン』法政大学キャリアデザイン学会紀要Vol.4所収 pp.61-78
- 山田泉2007.03.29（口頭発表配布原稿：後に出版物となる予定）「多文化共生社

会における日本語教育』『言語が開く公共世界』第73回公共哲学京都フォーラム

山田泉2006.04.01「ニューカマーと生涯学習－ともに育つ場の保障－」『教育』4月号所収 国土社 pp.76-81

山田泉2005.01.25「多様な日本語教育の展開と社会的課題克服への貢献」『日本語教育』124号所収 (社)日本語教育学会 pp.3-12

山田泉2004.09.30「多文化多言語主義と子どもの発達」(単) 田尻英三、田中宏、吉野正三、山西優二、山田泉著『外国人定住と日本語教育』所収 ひつじ書房 pp.129-162

山田泉、小林悦夫、高柳和子、野元弘幸、原久美子、山口一彦著2004.3.31『識字ボランティア研修に関する研究報告書』川崎市識字学級研究開発委員会 (山田執筆部分 pp.23-35, pp.60-69)

山田泉2004.03.31「地域社会における言語的マイノリティ問題と日本語教育」『日本語教育ブックレット6 地域における日本語学習支援』国立国語研究所 pp.11-28

山田泉2004.03.31「多文化教育としての日本語教育の取り組み」『法政大学キャリアデザイン学部紀要』第1号所収 pp.1-27

山田泉2003.08.20「教育改善：日本語教師に求められたもの・求められるもの1 国内の日本語教育の視点から」『日本語教育年鑑2003年版』所収国立国語研究所 pp.5-22

山田泉2003.06.06「日本語教育の文脈を考える」(単) 岡崎洋三・西口光一・山田泉編著『人間主義の日本語教育』所収 凡人社 pp.9-43

小林悦夫、岩淵英之、笹川孝一、高柳和子、野元弘幸、山口一彦、山田泉、米村朋子著2003.03.31『識字・日本語学習活動の現場から』川崎市識字学級研究開発委員会

山田泉2002.05.20「地域社会と日本語教育」(単) 細川英雄編『ことばと文化を結ぶ日本語教育』所収 凡人社 pp.118-135

山田泉2001.09.01「異文化間コミュニケーションと日本語教師」(単)『日本語教育を学ぶ人のために』所収 世界思想社 pp.198-209

山田泉2001.03.15「外国から来た子どもたちの自己実現の保障」(単) 大阪大学

- 留学生センター研究論集『多文化社会と留学生交流』第5号所収
pp.191-195
- 山田泉2000.03.31「第14章『地域日本語教育』の二つの在り方とその教授者のネットワーク」(単)社・日本語教育学会平成11年度文化庁日本語教育研究委嘱『日本語教育における教授者の行動ネットワークに関する調査研究－最終報告－』 pp.176-189
- 山田泉2000.03.15「『研究者』と『一般人』のあいだ」(単)大阪大学留学生センター研究論集『多文化社会と留学生交流』第4号所収 pp.103-106
- 山田泉1998.03.「地域社会と学校が変わるために－中国からの渡日生徒の受け入れ事例をめぐって－」(単)平7～9年度文部省科学研究費補助金(課題番号07308022基盤(A)(1)研究)研究成果報告書『多角的な日本語学習を支える地域社会内ネットワーク研究』所収 pp.54-73
- 山田泉1997.07.01「ボランティアとしてのかわりとは?」『開放教育』7月号 明治図書 pp.8-15
- 山田泉1997.05.25「地域における日本語教育(1) 専門家とボランティアの連携」『日本語学』5月臨時増刊号 明治書院 pp.142-148
- 山田泉1996.10.15『異文化適応と日本語教育2 社会派日本語教育のすすめ』凡人社
- 古川ちかし、山田泉1996「地域における日本語学習支援の一側面」『日本語学』2月号 明治書院 pp.24-34
- 山田泉1995.03.25「『開発教育としての日本語教育』の試み」『大阪大学における日本語教育』大阪大学留学生センター日本語教育部門 pp.5-17
- 丸山敬介、山田泉1993「日本語教師の自己開発－発想の転換と実践的能力の形成－」『日本語学』3月号 明治書院 pp.13-20
- 伊藤博文、山田泉1993「外国人留学生に対する日本語音声教育の試み－韓国人学習者を中心に－」平成4年度文部省科学研究費重点領域研究(1)『日本語音声』研究成果刊行書『日本語音声と教育』 pp.37-42
- 山田泉1992「異文化適応と日本語教育」『横浜日本語教育フォーラム'90』アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター pp.1-20
- 山田泉1992「学習者の自己実現と日本語学習」日本語教育学会調査研究第2小

委員会報告書『日本語口頭運用能力に関する考察』 pp.139-141

山田泉1991「中国からの帰国・移住者のためのプログラム」『講座日本語と日本語教育』第16巻 明治書院 pp.372-395

山田泉1991「言語教育として見た日本語教育と国語教育」『日本語学』9月号 明治書院 pp.4-11

山田泉1991「中国からの帰国者とその子女のための日本語教育」『講座日本語と日本語教育』第14巻 明治書院 pp.127-153

山田泉1988「国内の日本語教育の現状と課題」『日本語教育』66号 社)日本語教育学会 pp.14-27

山田泉1983「日本語の話しことばと日本語教育」『外語学報3』大連外国語学院 pp.2-6

<以下、教材・教師用参考書>

共 著 1991『中国帰国者用日本語教育指導の手引－異文化適応をめざした日本語教育－』文化庁

共 著 1989『先生おはようございます』文部省（分担執筆第1・2課：田中望、山田泉） pp.7-75

共 著 1988『中国帰国者用日本語教育指導の手引』文化庁

共 著 1984テレビ日本語講座『学日語－日本語をならおう－』制作および同教科書1～4巻中国広播電視出版社

<学会及び社会活動>

(学会等)

- ・公益社団法人日本語教育学会評議員（14-15）、理事（96-00）、教師研修委員会委員（91-98）／同副委員長（94-97）、ネットワーク調査研究委員会委員（94-00）／同副委員長（97-00）、調査研究委員会副委員長（97-99）、テーマ領域別研究活動運営管理委員会委員（03-11）、テーマ領域別研究活動「多文化共生社会における日本語教育研究会」（06-11）／同代表幹事（06-11）、文化庁委嘱事業「外国人に対する実践的な日本語教育の研究開発」運営委員会副委員長（07-08）

- ・日本音声学会会員
- ・開発教育研究協議会会員
- ・社会言語科学会会員

<社会活動>

- ・非営利活動法人日本語教育研究所理事 (13-)
- ・文化庁文化審議会国語分科会日本語教育小委員会委員 (07-11)
- ・文化庁「地域日本語教育支援事業企画・評価会議」主査 (06-08)
- ・神奈川県立鶴見総合高等学校学校評議員 (05-12)
- ・NPO法人国際文化振興協会参与 (03-04)
- ・国際交流基金「海外日本語教育支援NGO助成」審査委員会委員 (03-07)
- ・豊中市人権文化部文化国際課「豊中市親子参加型日本語教室実行委員会」委員 (02)
- ・(財)とよなか国際交流協会「大阪発・NGOと行政をつなぐ国際交流協会ネットワーク事業—『人権教育のための国連10年大阪府後期行動計画』の実践として」助言者 (02)
- ・川崎市教育委員会「川崎市識字学級開発委員会」委員 (01-02) 主査 (03-04)
- ・大阪市教育委員会「大阪市教育国際化推進協議会」代表 (01-08)
- ・日本学術振興会科学研究費委員会専門委員 (00-01)
- ・(財)とよなか国際交流協会「地域で多文化が育まれるための『社会参加』システムづくり」調査研究会メンバー (99-02)
- ・「とよなか子ども・人権フォーラム」実行委員 (98-02)
- ・(財)とよなか国際交流協会「在日外国人の母子保健」調査研究会メンバー (98)
- ・箕面市外国人施策懇話会座長 (97-98)
- ・(財)中国残留孤児援護基金中国帰国者定着促進センター「中国帰国者に対する通信教育(試行)調査研究部会」主査 (96-99)
- ・国際交流基金「中国日本語教材編集実施委員会」委員 (95-02)
- ・国立国語研究所「日本語教育論集編集委員会」委員 (94-96)

- ・川崎市地域日本語教育推進協議会副委員長（94-96）, 専門部会委員（94-96）, 同副部会長（96）、委員長（03-10）
- ・国立国語研究所「通信教育による日本語教育専門研修教材作成企画委員会」委員（93-96）
- ・文化庁文化部国語課「技術研修生のための日本語教育の標準的カリキュラム等の作成に関する調査協力者会議」構成員（92-96）
- ・財）日本語教育振興協会専門委員（92-）
- ・文化庁文化部国語課「中国帰国者用日本語教育指導の手引作成部会」構成員（88-96）
- ・文部省助成局海外子女教育室「中国帰国孤児子女教育指導教材作成協力者会議」構成員（88）
- ・財）日本テレビ放送網文化事業団「コースデザイン委員会」委員（88-94）
- ・財）NHKインターナショナル「中国放送大学日本語講座制作委員会」委員（87-90）

<受賞>

社）日本語教育学会「第7回学会賞」（2009.05.23）